

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。 ●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。	・キーワードを見つける、段落ごとの要点まとめをする、文章全体の要旨をまとめるなどの学習を充実させる。 ・「それ」とは何をさすか、この言葉は図ではどこのことをさすのか、などといった、言葉と言葉、言葉と図の関係をいつも意識しながら読み進めるように指導する。
算数	○台形の意味や性質について理解している。 ●伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する。	・分数や割合の学習など、二つの数量の関係の学習において、1でないものを1とみなす(もとにする量)指導を下学年のうちから工夫して行う。
理科	○乾電池のつなぎ方について直列つなぎに関する知識が身に付いている。 ●ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。	・デジタル教材を効果的に使いながら、実物を用いて実感を伴った理解を図る。

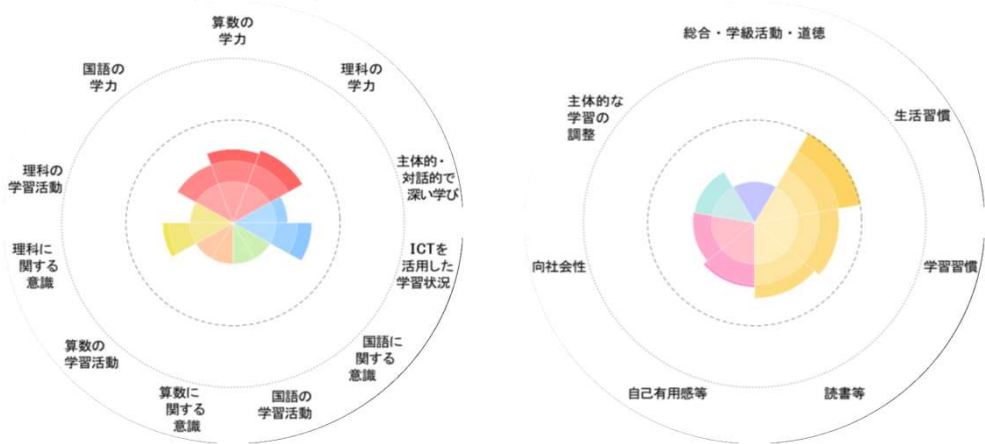
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○95%を超える児童が、「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した。 ●家庭学習の時間が少ない児童が多い。	・「家庭学習の手引き」を使い、家庭学習の充実を図る。

(3)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・全国学力調査では、初読の長文の意味を理解する読解力が各教科で求められていると思う。各教科で読解力を高める指導を充実させるとともに、読書指導もさらに充実させて、読解力を高めていきたい。
------	--

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【受検者数】
25 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

